

第 9 7 7 回教育委員会会議概要

1 日 時 平成 2 5 年 2 月 1 8 日 (月) 午後 4 時 0 0 分～

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 清川委員長 川畑委員 吉井委員 小泉委員 西野委員 林教育長
豊北企画幹 小和田企画幹 (学校教育) 伊勢教育振興課長
国久学校教育政策課長 古谷高校教育課長 上野義務教育課長
齋藤スポーツ保健課長 山元企画参事 清川高校教育課参事 (人事)
堀藤島高等学校長 川村高志高等学校長 山本羽水高等学校長

4 議 題

日程第 1 第 3 9 号議案 平成 2 5 年 2 月 2 0 日付け人事異動について

5 審議事項

(1) 開会宣告

(2) 会議録署名人の指名 川畑委員 吉井委員

(3) 議事要録

委員長 日程第 1、第 3 9 号議案について、非公開としたい旨発議

—————当該議案を非公開と決定—————

委員長 日程第 1、第 3 9 号議案を議題

学校教育政策課長 資料に基づき説明

委員長 第 3 9 号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

◎協議・報告事項

協議事項

(1) 中高一貫教育校 (併設型) について

委員長 中高一貫校となった場合の校風について質問

高志高等学校長 部活動や現在指定を受けているSSH (スーパーサイエンスハイスクール) にいい影響を与えると予想する旨回答

藤島高等学校長 生徒の個性や多様性を発揮してもらえると予想する旨発言

委員長 中高一貫校を「いつ」「どこに」「どのくらいの人数」設置するかを決める必要がある旨発言。「どこに」は、まだ決定できないが、平成27年4月に、2～3クラスを設置することに決めたい旨発言。委員の意見を求める旨発言

委員 受験一辺倒でなく、全人的な教育をお願いする旨発言

教育長 開学までに中高一貫校に対応する教員の養成が大事である旨発言

委員長 授業名人の教員は、中高一貫校でも力を発揮してくれるはずであり、平成27年4月の開校に向けて進めたい旨発言

(2) 体罰等調査について

委員長 重大と認められる2件の部活動での体罰案件について、現在の指導状況について質問

高校教育課長 敦賀工業高校は副顧問が、丹生高校は部長が指導、両校とも技術指導は別の教員が行っている旨回答

委員長 24時間電話相談事業における体罰案件の有無を質問

高校教育課長 24年度は現時点で680件の相談があり、体罰案件はない旨回答

委員長 校長、教頭による部活動の巡回の有無を質問

企画幹 巡回状況にばらつきがあり、しっかり対応していく旨回答

委員長 今回の案件は、体罰調査を行ったことで発覚したのか質問

企画幹 ほとんどの案件は、各学校では把握していた旨回答

委員長 教育委員会に報告が上がらなかった理由を質問

企画幹 今回の案件は、県教委に報告すべき案件と認識していなかったか、認識していても報告を怠ったかのどちらかである旨回答

委員長 丹生高校を視察してきた。教員と生徒の信頼関係が失われたらだめである。

教育長 今回の発表で生徒に戸惑いがないように努める旨発言

報告事項

(1) 県独自学力テストの実施結果について

委員長 試験が多いとか、宿題が多いなど、福井の学力が高いことの原因調査をしているか質問

義務教育課長 調査はしていないが、本県の宿題量は全国でもかなり多いと推察しており、親の公教育に対する期待が大きく、塾通いは少ないという状況から、学校が宿題を多く出す傾向にある旨回答。

委員長 本日の会議の終了を宣告